

第4期協働のまちづくり推進委員会協議報告書

1. 任期：令和4年1月17日から2年間
2. 委員：地域コミュニティや市民公益活動団体、事業者、公募市民、学識経験者等 12名
3. 第4期のテーマ：持続可能な地域コミュニティの在り方について
4. 協議内容

○第1回（令和4年1月17日）

議題：テーマの決定

結果：持続可能な地域コミュニティの在り方について

○第2回（令和4年3月16日）

議題：地域コミュニティの現状

内容：区・自治会の課題とは？解決策は？

結果：グループワークの中で、人口減少、業務負担、閉鎖的なコミュニティである等の問題点が提示されました。解決策として、（1）区の運営方法の検討（グッドケースの全体共有、若手が盛り上げる、色々なイベントをやる、楽しい自治会、子育て自治会等）、（2）別組織（コーディネーターがいる別組織、なんでもやる課の創設）を立ち上げるという意見ができました。

○第3回（令和4年6月20日）

議題：つくば市の事例紹介、小桜地区・石岡中学校区における話題提供、グループワーク

内容：事例、話題提供を受けて、（1）「委員の皆さんの関わる地域・住む地域には、どのような取り組みがありますか？」（2）「どのような取り組みだったら、始められそうだと思いますか？」についてグループワークを実施。

結果：（1）について、慶弔費を集めて食事会を実施、店舗で高齢のお客さんに、子供がスマホを教えている、県民交通共済に加入等（2）について、まちなかりレーマラソン、110番の家、空地を利用したキッチンカーイベント等の意見がありました。

○第4回（令和4年11月7日）

議題：石岡市社会福祉協議会、NPO法人まちづくり市民会議からの話題提供、グループワーク

内容：社会福祉協議会が行う生活体制支援整備事業の話題提供を受けて、（1）「担い手の育成や確保等の現状と課題」についてとNPO法人まちづくり市民会議からの話題提供を受けて、（2）「多世代の関わりや新しい人の関わりを生む事業のアイデアにはどのようなものがあるでしょうか？社協の取組に繋がれそうなことがあるでしょうか？」についてグループワークを実施。

結果：（1）について、子供には人を集める魅力があるため学校の授業でやってみる、支援を受けるまでに段階的な助けが必要、互助の雰囲気づくり、学校との連携等、（2）について、子供がやっていることに年配者を巻き込む、婚活イベントに年配者がいる、展示会・ギャラリーをつくる等の意見がありました。

○第5回（令和5年7月27日）

議題：地区公民館・コミセン等の活動拠点の利用状況、つながる図書館の話題提供、グループワーク

内容：住民の活動拠点について、市から地区公民館等の利用状況と平方委員からのつながる図書館についての話題提供を受けて、「どのような活動拠点が欲しいか？どうなるか使いやすいか？」についてグループワークを実施。

結果：子供が自由に出入りできる（ボールプール）、目的がなく行ける、駐車場が使いやすい、飲食（アルコール含む）ができる、空き家の活用、しゃべり場、言いたいことを言える、つながることができる等の意見がありました。

○第6回（令和6年1月11日）

議題：第6回テーマ：持続可能な地域コミュニティの在り方について

内容：これまで実施してきた5回の委員会を振り返り、「持続可能なコミュニティをつくるためにできること」についてグループワークを実施し、第4期委員会として石岡市に提出する提言のとりまとめを実施。

結果：「コミュニティの新しい拠点づくりのために」と「市民がコミュニティ活動に参加しやすくするために」に区分けし、委員会として8つの意見について提言することを決定しました。

委員会後、石岡市協働のまちづくり条例第11条第2項に基づき、令和6年1月17日付で石岡市に提言を提出しました。